

ガス壊疽を伴う降下性壊死性縦隔炎の一症例

小 関 晶 嗣 吉 岡 真理子 欄 真一郎 宮 本 直 哉

愛知厚生連加茂病院 耳鼻咽喉科

深頸部膿瘍，縦隔膿瘍（降下性壊死性縦隔炎）は，上気道，口腔等の感染を契機に上縦隔に感染が広がり，さらに周囲組織の壊死を伴いながら，下方の縦隔に感染が及び，適切な治療の機を逸すれば，死亡率は40%に至るとも言われている．原因の多くは口蓋扁桃感染症，急性顎下腺感染症，歯牙感染症からといわれており，耳鼻咽喉科医として絶対に見落としはならない疾患のひとつである．今回，66歳の女性で，咽頭痛，頸部腫脹の主訴に当科受診し，頸部CTにてガス壊疽を伴う膿瘍形成を認め，気管切開，頸部膿瘍開放，縦隔からの開放ドレナージを必要とした症例を経験したので，その原因，治療経過を混じえてここに報告する．